

# 地域に学ぶ 地域で学ぶ

## 「朝日のびのび教育賞」に6団体

朝日新聞社の第15回「朝日のびのび教育賞」(ベルマーク教育助成財団後援)に6団体(うち「ベルマーク賞」と「まなあさ賞」に1団体ずつ)が決まった。全国から応募のあった158団体の中から、朝日新聞記者による現地調査と、社内審査で選考した。新設のまなあさ賞はIT(情報技術)を活用した取り組みを対象とした。各受賞団体には正賞の盾と活動奨励金50万円が贈られる(ベルマーク賞については、ベルマーク教育助成財団から50万円を贈呈)。



スタッフの指導のもと、修理に挑戦する児童。福岡県糸島市立引津小学校

### 物を愛する心 修理で育む

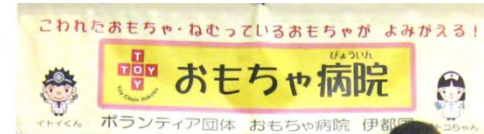
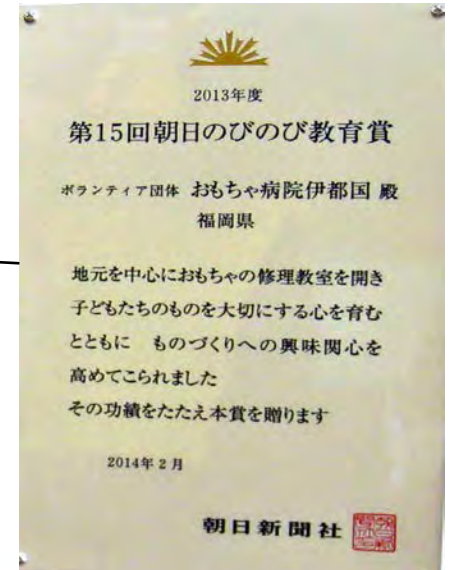
#### おもちゃ病院伊都国 (福岡)

黄色いエプロンとバンダナを身につけた「ボランティア団体おもちゃ病院伊都国」のメンバー約10人が昨年11月、福岡県糸島市立引津小学校にやってきた。4年生向けの「おもちゃ修理体験学習」のためだ。大賀ももかさん(10)は、音が出なくなった電話の修理に挑戦した。よく遊んだ大切なおもちゃだ。スタッフの指導を受けながら取りかかると、スイッチの接触不良が原因と分かった。部品を交換すると、再び音が出るようになった。大賀さんは「妹と弟にもこれで遊んでほしいので、うれしい」と喜んだ。おもちゃ病院伊都国は2007年10月に発足。メンバーは定年退職した元エンジニアら25人。年30回ほど、公民館などで壊れたおもちゃを

無償修理している。08年からは学校を訪れ、子どもたちと一緒におもちゃを直す活動も始めた。ものを大切に育みたいの思いからだ。準備は念入りだ。開催3週間前に学校に足を運び、修理することこみか減り、エコにつながることを説明。電車のおもちゃなどを教材に、動く仕組みや修理の手順も教える。引津小の戸高健校長(59)は「電気の流れ方など授業で学んだことを実感できる。子どもが『こういうことだったのか』と気付く体験は大事」と話す。一度修理を体験した子が、自力で別のおもちゃを直すことで失敗し、質問に来ることがある。代表の波多江保彦さん(76)は「子どもの興味を幅を広げ、意欲を伸ばすことにつながっているように、うれしい」と顔をほころばせる。(山下知子)

## 2013(H25)年度朝日のびのび教育賞 受賞

朝日のびのび教育賞は、多様な教育活動に光を当てることを目指して、1999年に創設された朝日新聞社の全国規模の表彰制度です



平成26年度第4回糸島市社会福祉大会表彰(優秀賞)受賞



2012(H26).09.20 糸島市伊都文化会館



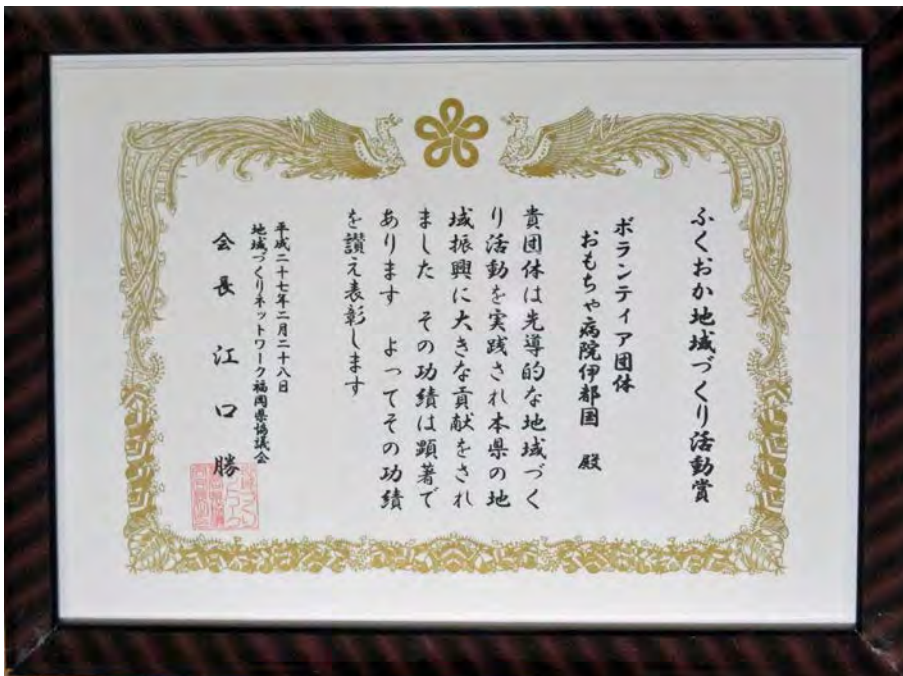
平成26年度糸島市社会福祉大会表彰(優秀賞)受賞

## 平成 26 年度ふくおか地域づくり活動賞 受賞



平成 26 年度ふくおか地域づくりフォーラム会場  
2015(H27).02.28 福岡県立飯塚研究開発センター

- 福岡県内で様々な地域づくり活動に取り組んでいる団体の中から、
- (1) 継続性・独創性・先駆性などの観点から他のモデルとなる活動
  - (2) 団体や行政あるいは企業との協働により地域づくりの成果を上げた活動、
  - (3) 地域の課題に積極的に取り組み成果を上げた活動で、特に活動状況が顕著である団体が表彰されます



# 「親切会」平成26年度善行賞 受賞

2015(H27).03.10

糸島市子育て支援センター



「親切会」は、お互いに親切にしあったり、  
困っている人たちに援助の手を差し伸べたり  
して、世の中を明るく住みよい社会にして  
いこうと取り組んでいる  
日立グループのボランティア団体です

